

佐 産 建 第 2 9 1 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

青森県下北郡佐井村長 太 田 健



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県佐井村

- 当村の国道338号につきまして、行政区域内全区間にわたって点在する狭隘、未改良、危険箇所の改良整備による通行安全性の確保が急務となっております。
- 村道福浦川目線は、当村の福浦地区から野平地区を経てむつ市に至る重要路線であります。
本路線は、現在、県代行事業による第二期工事として、縫道石山登山道入口から野平地区に向けて約2.2kmの区間の工事が実施されております。しかし、終点野平地区までの約2.4km区間は、村の財政状況が逼迫していることから、引き続き、第三期工事についても県代行事業として工事推進が望まれております。
- 主要地方道川内佐井線及び一般県道薬研佐井線は、風間浦村の国道279号の有事の際、むつ市へ通じる迂回路として、重要な路線であります。現在、冬期期間は閉鎖路線であるため、迂回路としては利用ができない状況から、冬季は、国道338号を利用した迂回となり大幅な時間を費やすこととなります。
このことから、両路線の未改良箇所の整備促進と通年の利用が望まれております。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

青森県佐井村

○現状

下北圏内において、自然災害や重大事故(大間原子力発電所)などの備えとして、安全で安心して通行できる避難路の整備や下北半島国定公園内においては景勝地も多いことから自然と調和の取れた道路整備が必要である。

○課題

事業実施にあたっては、早い段階から地域住民の意見を十分反映させ地域に見合った道路整備や沿道の住民が道路管理に参画できる取り組みと国有地内においては関係官庁が連携の取れた道路整備を望む。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

青森県佐井村

主要国道の道路整備が重点とした施策がなされている中において、地方道の整備は依然として進まない状況にあるため、補助事業制度の優遇措置を配慮してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

青森県佐井村

○ 重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	国定公園下北半島は、四季折々の自然に恵まれ、そして、海の幸はもちろんのこと山の幸等にも大変恵まれております。国定公園に指定されてから40周年の節目の年にあたり、下北観光協議会を中心に各市町村が連携し広域観光に取り組んでいます。 そのような中におきまして融雪時期とともにマイカー利用の観光客が多く訪れ、各路線について、冬季閉鎖解除時期の問い合わせが数多くあります。観光客の誘客促進を図るためにも降雪の少ない年は、下北半島の観光振興上、早い時期において解除が望まれております。また、四季折々の特性を活かした通年観光を推進して行く上では冬季閉鎖路線があることは、大きな支障となります。観光客は、一度通った道に戻ることは大変嫌がるものであります。	県道川内佐井線「主要地方道」は、国道279号での災害時における迂回路や大間原子力発電所に伴う防災上の避難道路としての役割が大きい。冬季閉鎖することなく通年通行が可能となることにより、四季折々の特性を活かした通年観光を推進される。	